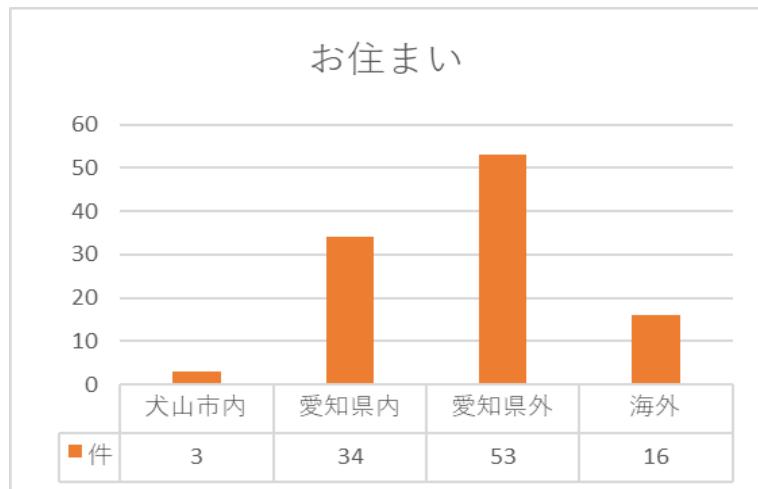


～犬山商工会議所 観光客への消費動向に関するアンケート～

犬山駅前の宿泊施設（2施設）、犬山城下町の飲食店（3店舗）、城下町のお土産取り扱い店舗（3店舗）、城下町の娯楽施設と犬山駅周辺の娯楽施設の合計10店舗にご協力を頂き調査をいたしました。アンケート調査時期：令和7年11月～12月中旬 集計数：106件

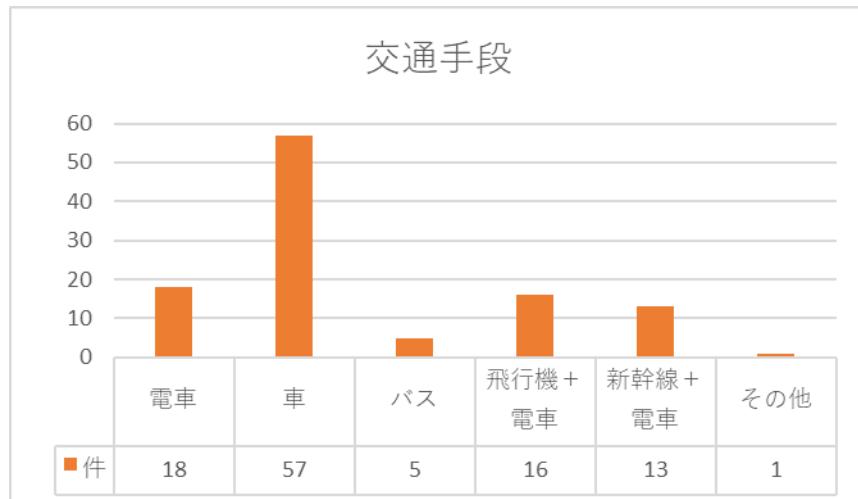
① どこにお住まいですか



愛知県外からの来訪者が愛知県内を上回っており、広域からの集客が実現している。具体的には、愛知県内が34件に対し、県外からは53件にのぼる。県外の居住地は、近隣の岐阜・三重・静岡だけでなく、東京、大阪、兵庫、さらには広島や宮崎など広範囲に及んでいる。また、香港、台湾、アメリカ、ドイツなどの外国人観光客の存在も確認されており、インバウンド需要も一定数存在する。

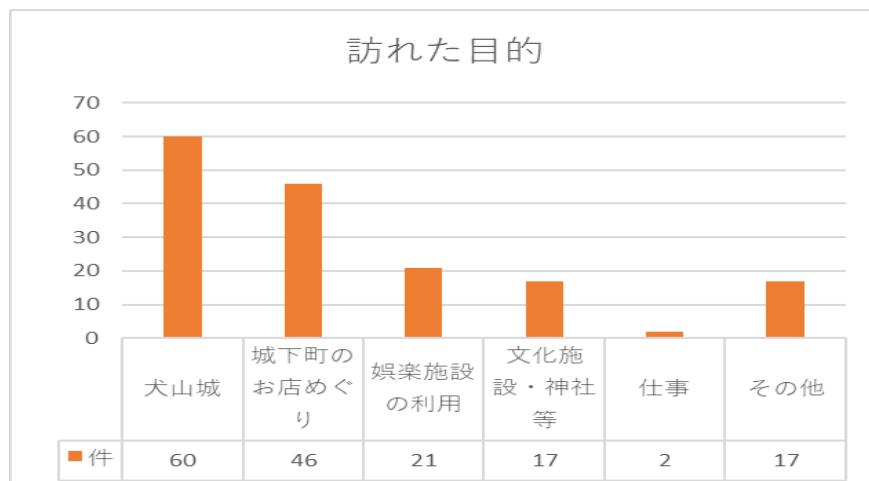
愛知県外・・・北海道、福島県、東京都、千葉県、兵庫県、埼玉県、神奈川県、岐阜県
三重県、静岡県、大阪府、京都府、滋賀県、広島県、福岡県、宮崎県、福島県
海外・・・香港、台湾、フィリピン、ドイツ、中国、アメリカ

② 犬山までの交通手段は



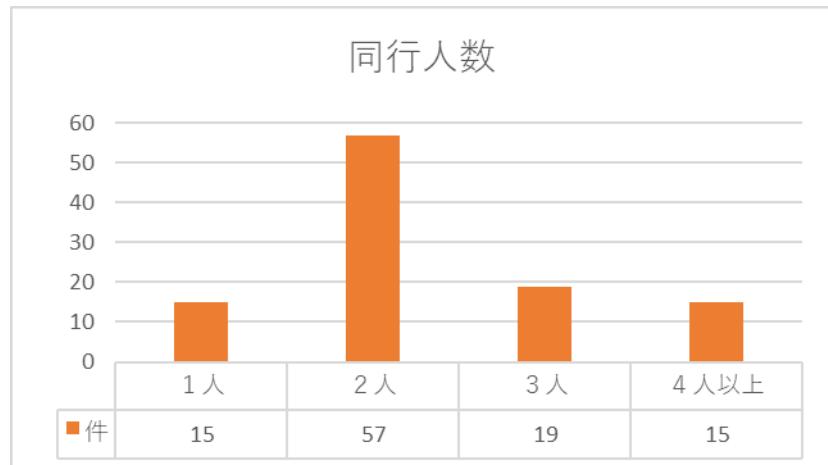
県外からの観光客が多いにもかかわらず、公共交通機関よりも自動車の利用が圧倒的に多い。アンケート結果では電車利用が18件であるのに対し、車での来訪は57件と大多数を占めている。ただし、立地の良いホテルを利用する宿泊客に限れば、JRや名鉄などの鉄道を利用する傾向も見られる。

③ 本日犬山を訪れた目的は（複数回答可）



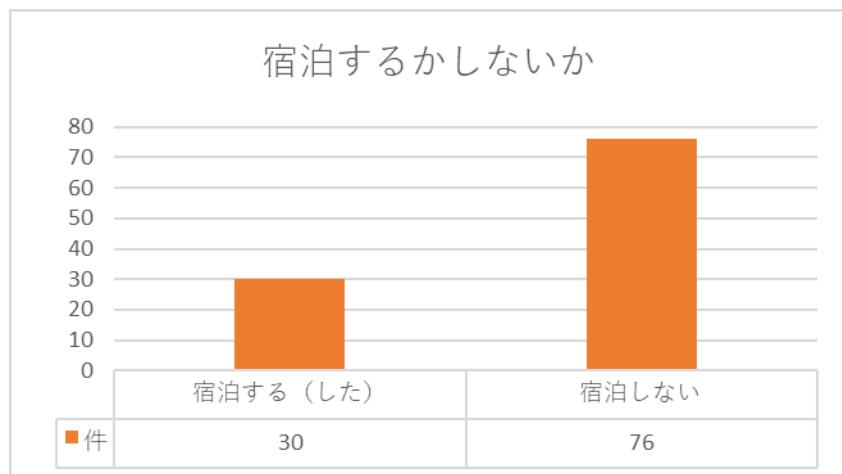
「犬山城」および「城下町のお店めぐり」が観光の主目的である。調査結果では、犬山城が60件、城下町めぐりが46件と圧倒的な数値を示している。数時間で買い回りや観光が完結できる手軽さから、特定の目的地への「経由地」として犬山を選ぶ観光客も多い。

④ 本日は何人で来ましたか



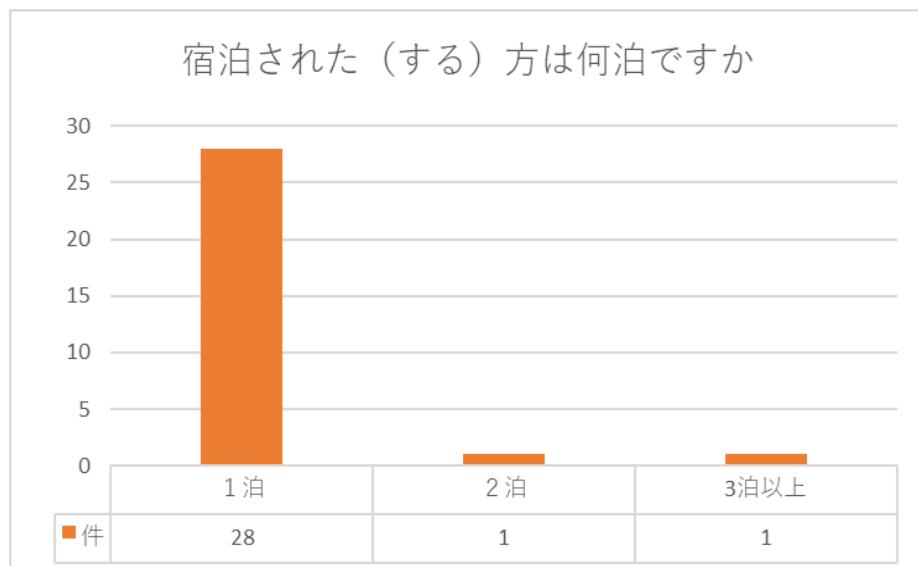
同行人数は「2人」が57件と最も多く、夫婦や友人同士での来訪が主流である。これは調査が平日に行われたことも影響しており、家族連れよりも少人数での訪問が目立つ結果となった。

⑤ 犬山で昨日宿泊しましたか、または本日宿泊しますか



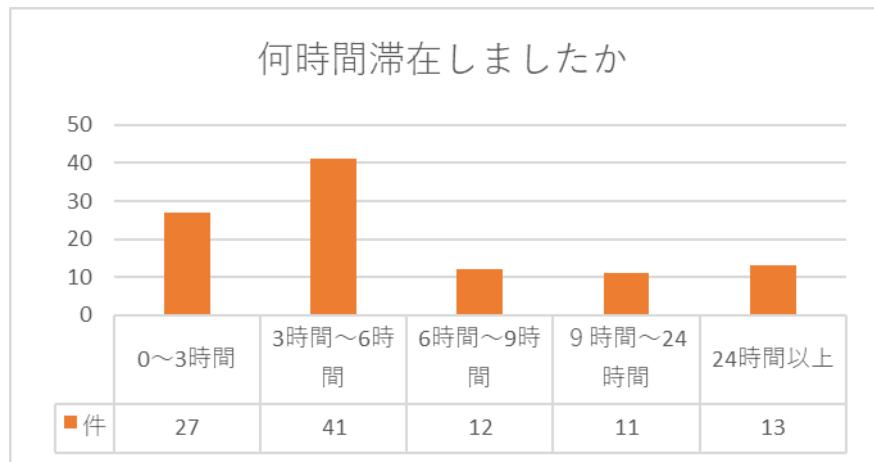
滞在形態については、「宿泊しない（日帰り）」観光客が76件と大半を占め、日帰りをされる観光客の方が多かった。

⑥ 宿泊された方は何泊ですか



宿泊する場合、そのほとんどが1泊（28件）を選択している。
インディゴ犬山にて、7泊される方が1件確認できた。

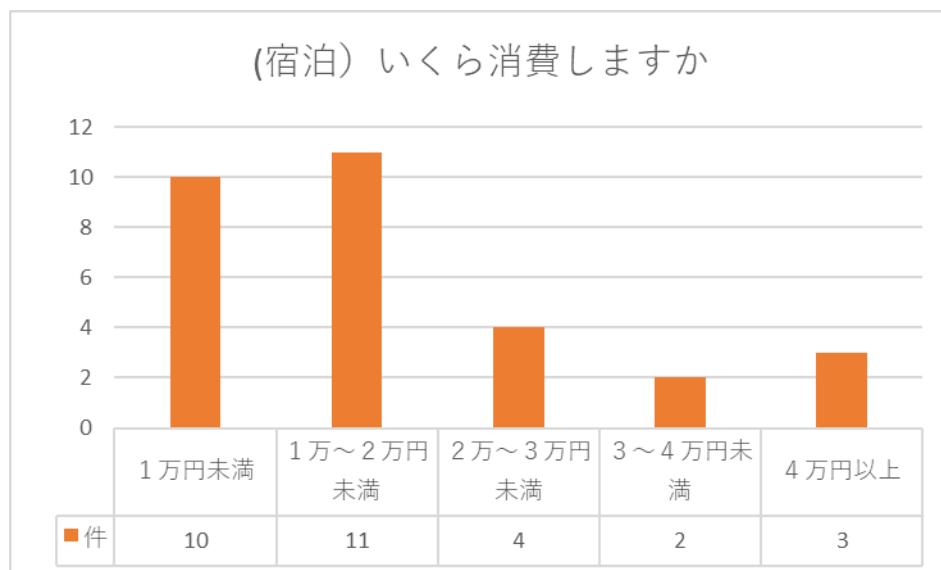
⑦ 合計で何時間犬山に滞在しますか



滞在時間は「3時間～6時間」の半日程度が41件と最も多く、犬山で宿泊せずに名古屋や他県へ移動するケースが多かった。近隣の市からは平日が空いているため、ランチのみなど限定して来る方もいた。

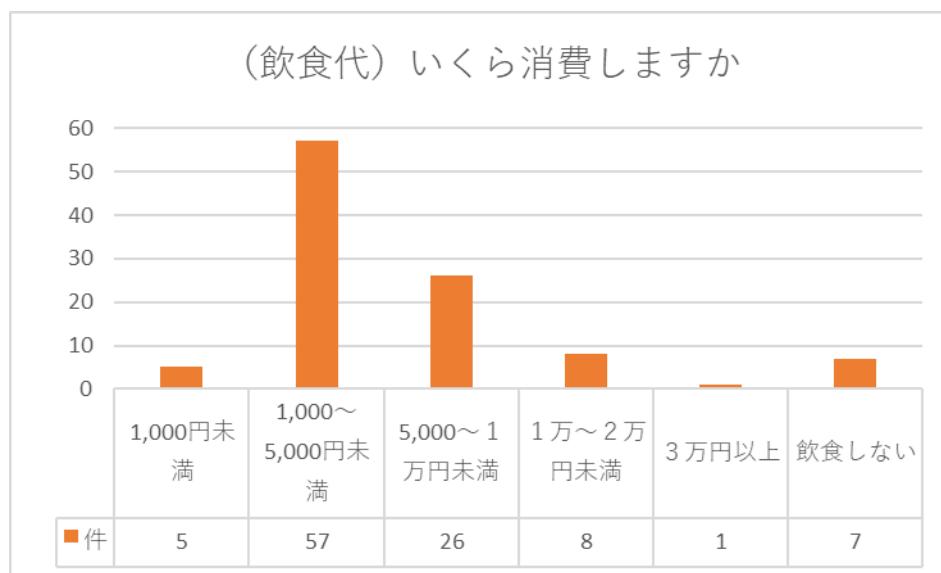
犬山でいくらぐらい消費しますか

⑧ 宿泊代（1人あたり）



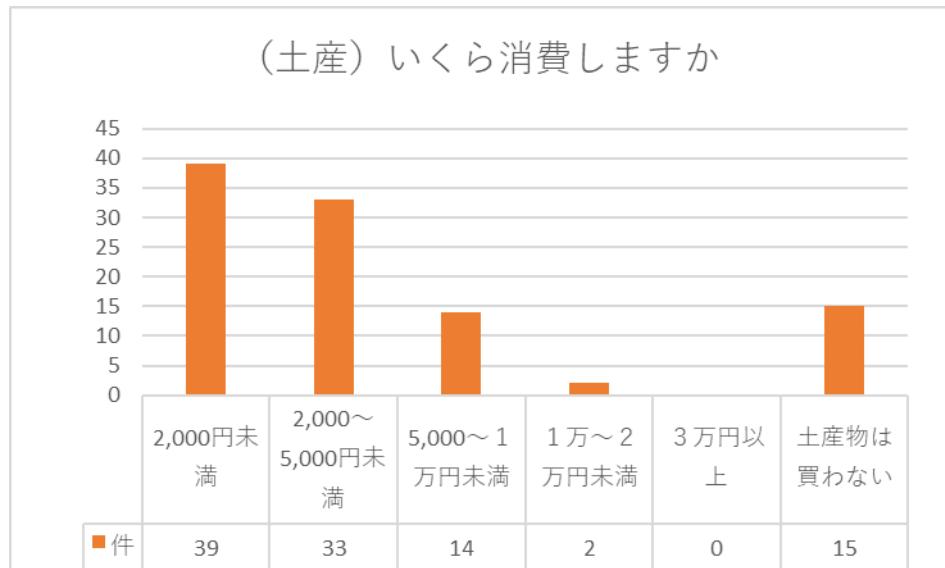
宿泊者の消費額は1万円～2万円未満（11件）や1万円未満（10件）に分散している。

⑨ 飲食代（1人あたり）



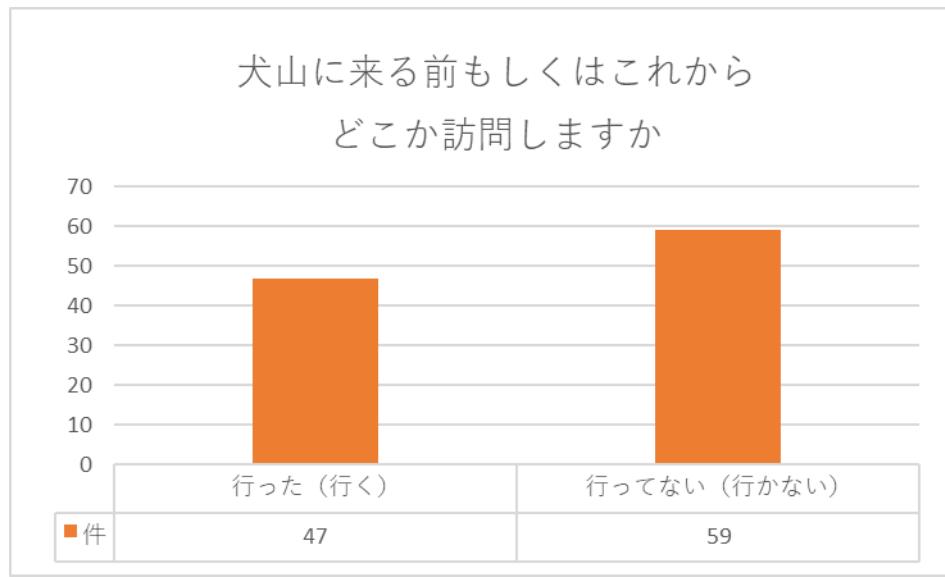
1人あたり1,000円～5,000円未満が57件とが多い。宿泊を伴わない食べ歩きやランチがこの価格帯に収まっている

⑩ 土産物代（1人あたり）



2,000円未満（39件）や2,000円～5,000円未満（33件）が中心である。半日程度の観光での購入額は2,000円前後がボリュームゾーンとなっているが、近隣からの観光客は食べ歩きのみで土産を購入しない傾向もある。

⑪ 今回の犬山訪問の前後に、どこか訪問しますか、またはしましたか



犬山は名古屋や岐阜周辺地域とセットで訪問されることが多い。犬山訪問の前後には、名古屋城、熱田神宮、ジブリパークといった名古屋市内のスポットや、岐阜城、下呂温泉、高山、さらには三重県のなばなの里や伊勢など、中京圏の主要観光地を回遊する動きが顕著である。

⑫ 行かれた（行く）場合、それはどこですか

名古屋城
東京
大阪城・モネの池（岐阜）
長良川
太田宿（美濃加茂）
ジブリパーク
名古屋・高山・上高地
長島・白川郷・高山
徳川美術館名古屋

可児、下呂
名古屋
高山
鵜沼
高山・金沢・岐阜
岐阜城・高山・名古屋
下呂温泉
名古屋・香嵐渓（豊田）
下呂
京都・大阪
岐阜城

三重・なばなの里・香嵐渓（豊田）
名古屋・ジブリ
岡崎・長島
白川郷・ジブリパーク
清須市
名古屋・大阪・京都
伊勢
名古屋港水族館
レゴランド・リニア鉄道館
名古屋城
熱田神宮・コロナワールド

まとめ：観光における犬山の立ち位置 現在の犬山は、広域から観光客を引き寄せる魅力（犬山城・城下町）を持ちながらも、滞在時間は短く、宿泊を他都市に譲る「魅力的な立ち寄り駅」のような役割を果たしている。短時間で満足感を得られるコンパクトな観光地として機能しているが、消費をさらに拡大するには、半日観光から1泊旅行へと繋げる仕掛けが必要と思われる。